

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査結果について

目次

I. 調査概要 1

II. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（抜粋） 3

9. 調査結果のまとめ 29

III. 在宅介護実態調査結果（抜粋） 1～4 32

5. 調査結果のまとめ 39

※調査結果のまとめは、本調査委託業者が各調査結果を基にまとめたものです。

【参考】 調査結果（抜粋）の記載内容・見方（主なもの）

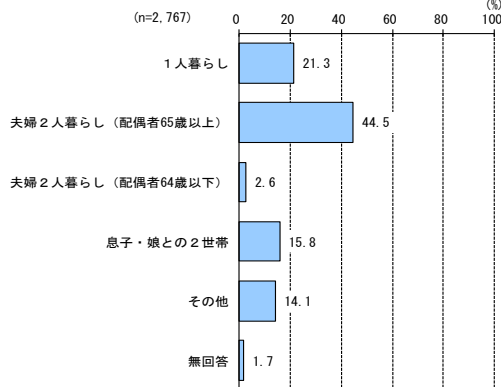
P. 3

●問 1.1 家族構成をお教えてください。（1つに○）

【全体】

○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が44.5%で最も多く、次いで「1人暮らし」が21.3%、「息子・娘との2世帯」が15.8%となっています。

【家族構成】



	母数 (n)	家族構成						
		1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	
全体	2,767	21.3	44.5	2.6	15.8	14.1	1.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	14.8	43.6	9.3	14.8	16.3	1.2
	男性 後期高齢者	656	13.4	58.5	1.1	14.6	10.7	1.7
	女性 前期高齢者	619	16.6	47.3	1.9	14.4	18.7	1.0
	女性 後期高齢者	1,006	32.5	33.9	0.7	18.0	12.4	2.5
圏域	東	1,280	20.2	45.0	2.5	17.7	12.7	2.0
	西	1,487	22.3	44.0	2.6	14.3	15.3	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,017	17.0	47.4	3.0	16.2	14.7	1.7
	要支援1・2	750	33.1	36.5	1.3	14.9	12.4	1.7

各問の選択枝ごとの割合 (%) を記載しています（単純集計）。

各問の選択枝ごとの割合 (%) を、「全体」「性別・年齢」「圏域」「認定該当状況」ごとに記載しています（クロス集計）。

圏域：市域を大きく「東西」の2地区に区分したサービス圏域（詳しくは、「参考資料3」をご確認ください。）
 前期高齢者：65歳～74歳の方
 後期高齢者：75歳以上の方
 一般高齢者：要介護・要支援の認定を受けていない方

「運動器機能低下のリスク」などリスクに関するグラフ（P. 7、9、11、12）

（例：P. 7）

（1）運動器機能低下のリスク

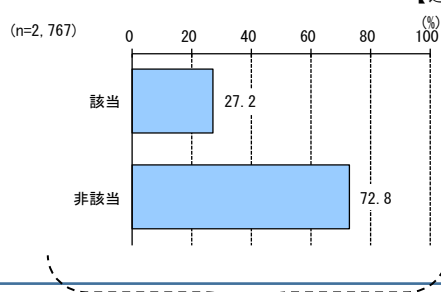
以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2-3 15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2-5 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2-6 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

【全体】

○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が27.2%、「非該当」が72.8%となっています。

【運動器の機能低下リスク】



		母数 (n)	単位：% 運動器の機能低下リスク	
			該当	非該当
全体		2,767	27.2	72.8
性・年齢	男性 前期高齢者	486	14.0	86.0
	後期高齢者	656	25.2	74.8
	女性 前期高齢者	619	16.2	83.8
	後期高齢者	1,006	41.8	58.2
圏域	東	1,280	26.5	73.5
	西	1,487	27.9	72.1
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	12.7	87.3
	要支援1・2	750	66.3	33.7

運動器機能の低下している高齢者に該当する割合（%）を記載しています。

※「該当」か「非該当」は、各問のどの「選択肢」を選択したかで判断します。